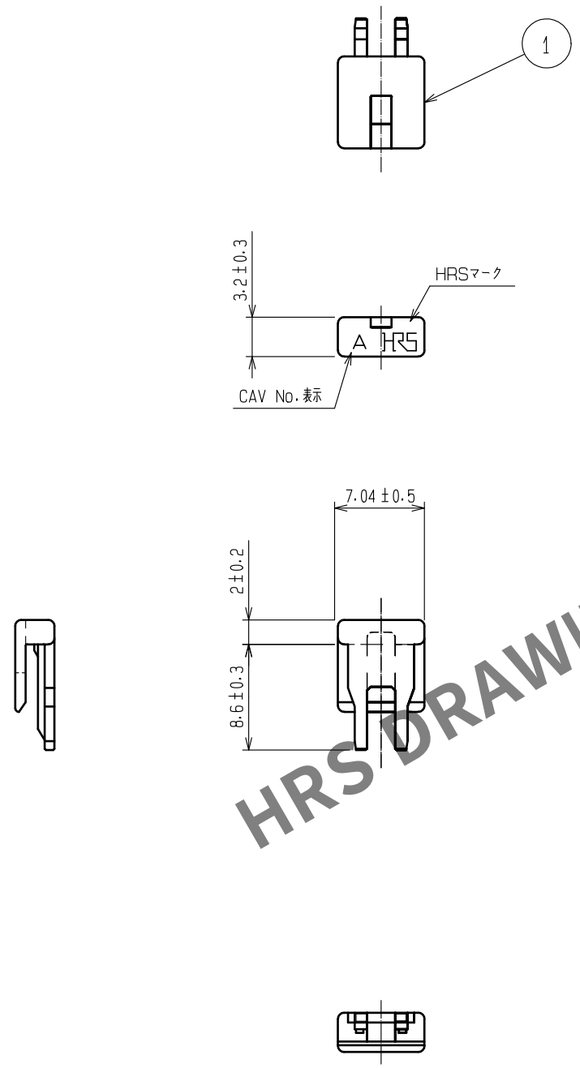
Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。



HRS DRAWING FOR REFERENCE

注1．1パック　100個入り

△2（記事削除）

部番	材　質	処　理，備　考
1	ポリアミド樹脂	UL94V-0,(BLACK)

UNITS	SCALE	△の数	訂　正　記　事	設　計	検　図	年月日
mm	2：1	△2 1	DIS-H-00012899	TS.KUMAZAWA	SZ.ONO	20220228

HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.

承　認	TS.SAKATA	20091105
検　図	TS.FUKUSHIMA	20091105
設　計	SN.KOBAYASHI	20091105
製　図	SN.KOBAYASHI	20091105

図番：	ADC3-326966-00
製品名：	DF22-1RS/P-7.92
製品コード	CL0680-1213-4-00 △2 1/3

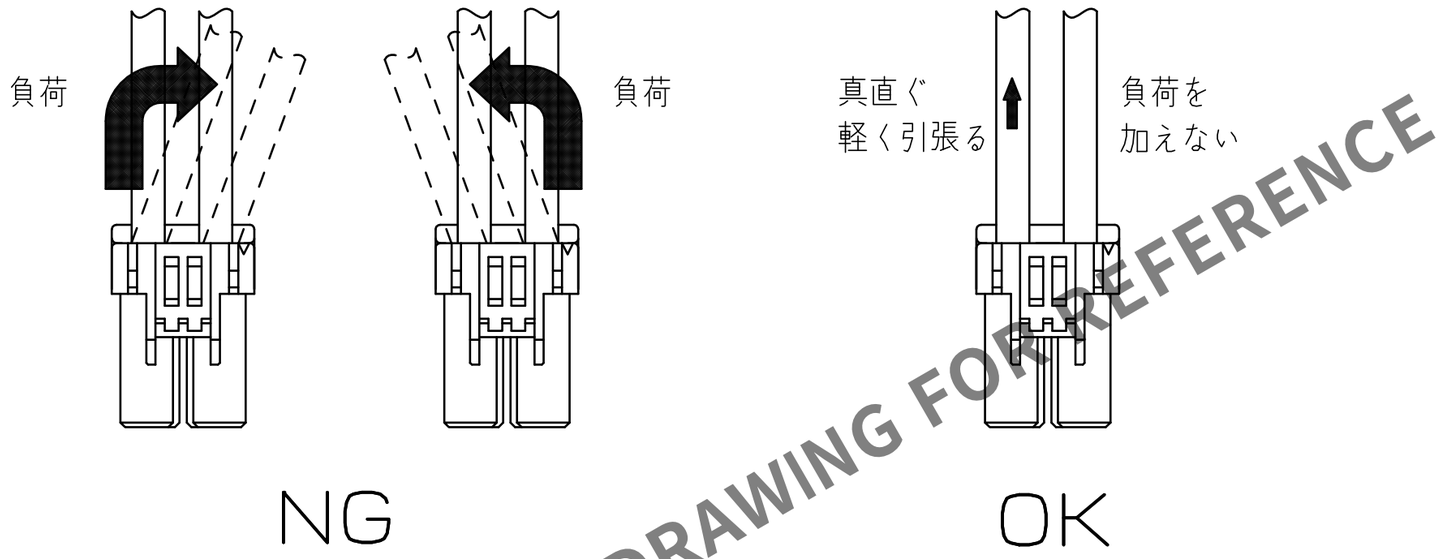
Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

▣使用上のご注意

◈結線時における注意事項

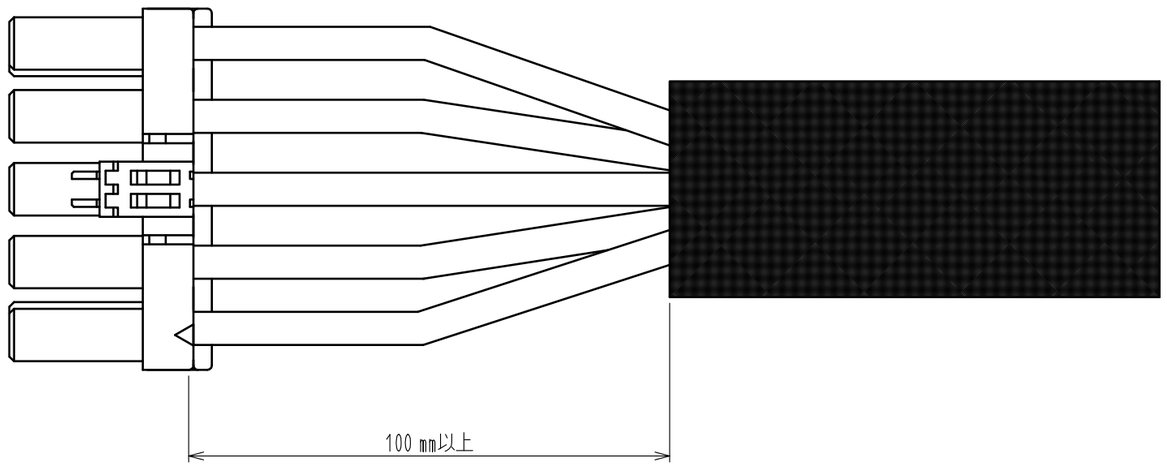
１）圧着端子を圧着ソケットへ挿入する際は、圧着端子を傾けずに挿入してください。また、電線をねじらないように挿入してください。
傾いた角度での挿入や電線をねじっての挿入は、圧着端子又は圧着ソケットを変形させる恐れがあります。

２）圧着端子を圧着ソケットへ挿入後、電線を軽く引張り、ランス掛り部に掛かっていることを確認してください。
その際、電線を屈曲させる作業は避けてください。コネクタへのストレスが大きくなり、端子が抜ける恐れがあります。



HRS DRAWING FOR REFERENCE

３）電線の結束／キャブタイヤケーブルについて
ソケット近辺で電線を束ねると、端子抜け、電線切れ、接触不安定等の原因となりますので、ソケットから100㎜以上の位置での結束、ストリップを推奨します。



DRAWING NO.	ADC3-326966-00
PART NO.	DF22-1RS/P-7.92
CODE NO.	CL0680-1213-4-00

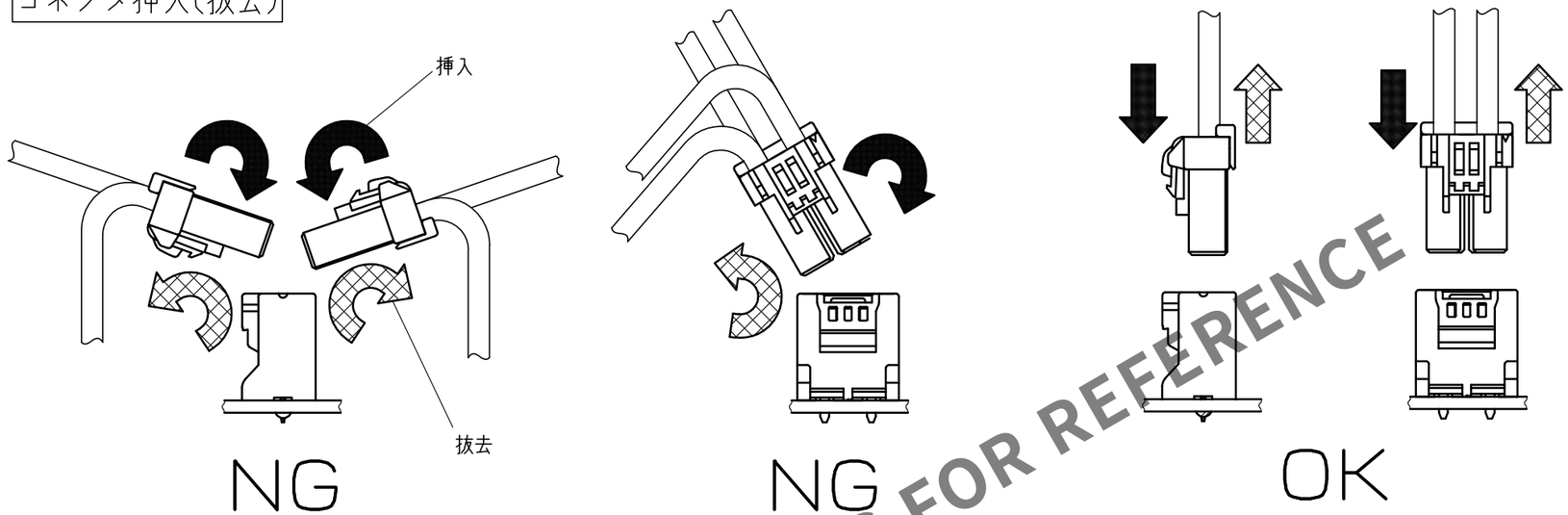
Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

◙使用上のご注意

◈コネクタ挿入時・抜去時における注意事項

1）コネクタを挿入（抜去）する際は、圧着ソケットを嵌合相手に対して水平になるように挿入（抜去）してください。
斜めに挿入（抜去）するとコネクタ根元に電線の負荷が加わり、コネクタ（ソケット、ヘッダーケース,プラグケース、端子接触部等）
を変形させる恐れがあります。また、コネクタが変形したままのご使用は、過大な発熱により、焼損に至る恐れがあります。

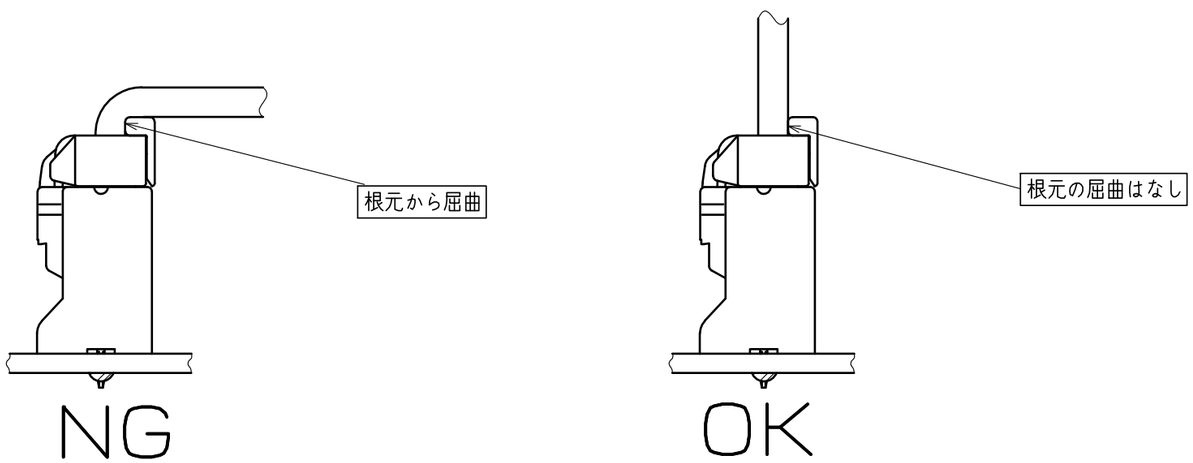
コネクタ挿入(抜去)



2）コネクタを抜去する際に、無理に引き抜こうとしますと、コネクタを破損する恐れがありますので、
抜き難い時は、一度軽く押し込んでからロックを操作して抜くようにしてください。

◈電線引回しにおける注意事項

1）太い電線をご使用の際、電線が短い場合、コネクタ根元から電線が屈曲されている場合に、コネクタに負荷が加わることにより
コネクタを変形させる恐れがあります。また、コネクタが変形したままのご使用は、過大な発熱により、焼損に至る恐れがあります。
電線の引き回しは、コネクタ根元では電線が屈曲、ねじれがない設定にしてください。



HRS DRAWING FOR REFERENCE

DRAWING NO.	ADC3-326966-00
PART NO.	DF22-1RS/P-7.92
CODE NO.	CL0680-1213-4-00

△2 3/3